

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県民の森、茨城県植物園、茨城県森のカルチャーセンター、茨城県きのご博士館
施設所管課	茨城県農林水産部林政課
指定管理者	公益社団法人 茨城県農林振興公社 理事長 藍原 伸夫
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	茨城県那珂市戸 4589 外
施設の概要	(1)面積：77.6ha (2)施設 ①茨城県民の森（64.7ha） ②茨城県植物園（12.0ha、熱帯植物館（2,693.75 m <sup>2</sup> ）、展示室（280.00 m <sup>2</sup> ）、レストハウス（166.18 m <sup>2</sup> ）、管理事務所（250 m <sup>2</sup> ） 他 ③茨城県森のカルチャーセンター（648.00 m <sup>2</sup> ） ④茨城県きのご博士館（1,147.60 m <sup>2</sup> ） ⑤その他（休憩舎、東屋、トイレ、遊具、遊歩道、駐車場、梅林等）
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営に関する業務</li> <li>施設の維持管理に関する業務</li> <li>施設の利用の制限等に関する業務</li> <li>特定施設の使用の承認に関する業務</li> <li>その他施設の管理上必要と認める業務</li> </ul>

2 職員の状況

常勤職員： 11人	非常勤職員 24人	合計 35人
職員 4+嘱託 3+臨職 4	パート 24	

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	111,057,000	人件費（給与等）	61,146,796
利用料収入	7,984,840	光熱水費	13,650,464
自主事業収入等	839,411	租税公課	79,800
その他（利息等）	1,182,108	自主事業費	523,000
		その他（事務費・修繕費等）	45,174,187
収入合計	121,063,359	支出合計	120,574,247

#### 4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
① 年間利用日数(日)	308	260	266
② 年間利用者数(人)	(県民の森) 117,811 (植物園) 56,354 (熱帯館) 42,691 (森カル) 61,411 (きのこ) 28,738	(県民の森) 127,021 (植物園) 46,403 (熱帯館) 37,339 (森カル) 61,544 (きのこ) 22,307	(県民の森) 108,224 (植物園) 34,333 (熱帯館) 28,041 (森カル) 50,041 (きのこ) 21,966
③ 利用料収入(円) (指定管理者収受額)	7,840,840	6,597,240	4,981,560

※利用日数は、茨城県植物園の開園日数。なお、R2、R3 はコロナ感染防止対策として開園できなかった期間がある。

#### 5 サービス向上に向けた取組み

- バラやボタンに QR コード付の品種名板を取り付け、スマホなどから花の特徴などを検索できるようにした。
- アウトドア用椅子の無料貸し出しを行った。
- 植物の開花状況や催し物等の最新情報をタイムリーに発信できるようホームページの更新回数を増やすとともに、SNS を活用して利用促進に努めた。
- 利用者の利便性向上を図るため、利用できるキャッシュレス決済の種類を増やした。

#### 6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法  
年間を通じて利用者に、所定のアンケート用紙を配布し調査を実施。(植物園展示室、熱帯植物館、レストハウス、森のカルチャーセンター、きのこ博士館にアンケート箱を設置。)
- 調査結果
  - ①職員・スタッフの対応は  
大変良い 48%、まあまあ良い 20%、ふつう 18%、あまり良くない2%
  - ②施設全体の感想は  
大変良い 73%、まあまあ良い 18%、ふつう 5%、あまり良くない1%
- 利用者からの意見等
  - 【良い点】
    - ・広くてのんびり散策でき、とても良い気分転換となった。
    - ・熱帯植物館は珍しい植物がたくさんあり見ていてわくわくした。
    - ・毒きのこの説明コーナーがとても面白かった。
    - ・季節ごとに良いところがあり、植物の手入れが行き届き、従業員も親切。
    - ・ランが美しく見事に咲いており、手入れが大変だろうと思った。
    - ・高齢者に優しい。休憩所が多く、トイレも分かりやすい。
  - 【悪い点】
    - ・園内の地図が分かりづらい。
    - ・野草園の手入れをもっとよくしてほしい。
    - ・きのこ博士館の照明が暗く、説明の字が小さく読みづらい。
    - ・マンネリ化していてあまり面白くない。

**【要望】**

- ・県民の森を散策しているとトイレがなく不便、トイレの設置をお願いしたい。
- ・施設のトイレを洋式にしてほしい。
- ・きのこ博士館の映像が故障しているので、早く直してほしい。
- ・ベンチを園路沿いに置いてほしい。
- ・ちょっとした休憩にコーヒーなどが飲める場所が欲しい。

○対応状況

- ・設備の老朽化による修繕、利便性の向上につながる改修などについて、県に対し予算措置を要望した。
- ・アウトドア用椅子の無料貸し出しを行い、気軽に休憩できるようにした。
- ・休日などには、キッチンカーによる軽食、ドリンクの販売を行った。

## 7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	設備等保守点検は、専門の資格業者に業務を再委託し、適切に実施している。また、設備の老朽化に伴い更新計画の要望を県に行っている。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	利用者が気持ちよく利用できるよう最善の管理を行っている。また、常に快適な施設となるよう心がけている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	利用者の安全を第一に指定管理者として対応すべきものは適切に修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等に従い、適切な時間管理運営を行い、夜間イベントは県に協議の上で開催している。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	細心の注意を払って、平等・公正な対応に努めている。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	マンネリ化にならないよう随時展示物の模様替えをするとともに催事協力団体等を発掘し、新たな展示イベント等を開催しながら、施設の利用拡大を図っている。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケートを実施するとともに開花情報や催事情報を随時提供し、利便性の向上を図っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	毎月のシフト勤務表を作成し、各施設とも適切に人員の配置を行っている。	A	A
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	苦情に対しては、速やかに対応している。また、内容により県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	防災訓練等を実施し、緊急時に行動出来るようにしている。職員間の連絡体制も周知している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	催事、PRや管理運営等必要に応じて関係機関と連携を図っている。	A	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍も落ち着きイベントを実施することができ、コロナ前に戻りつつある。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	年間を通じてほぼ毎週末は催事を企画するなど、計画的な施設利用に努めている。	A	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	年間の計画に対して適正に執行出来ている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	需用費をはじめ経費節減に取り組んでいる。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

施設内の緑地や植栽木等を適切に管理するとともに利用者が快適に利用できるように遊歩道等の維持管理に努めていることや利用者確保に向けて積極的に催事等の情報発信をしたことは評価できる。

また、漏水等の施設設備の不具合が発生した際には適切かつ速やかに対応していたことから、総合的な管理運営は良好である。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの